

## 令和 4 年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会活動内容

令和 4 年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会の活動として、災害廃棄物処理に関する自治体職員の人材育成を推進するため、人材育成事業（災害廃棄物処理に関する講義及びワークショップ）を各県で開催した。研修内容については、環境省東北地方環境事務所担当官及び各県担当者と都度協議し、各県の意向等に沿う内容となるようテーマ、進め方をカスタマイズして実施した。また実施回数は、青森県、秋田県、宮城県の 3 県ではそれぞれ 1 回ずつ実施し、岩手県、山形県、福島県の 3 県ではそれぞれ 2 回ずつ実施した。各県の実施概要は以下の通りである。

	青森県	秋田県	岩手県	
1. 開催日時	2022 年 10 月 7 日（金） 13:00～15:15	2022 年 10 月 6 日（木） 10:30～15:40	1 回目：2022 年 12 月 7 日（水） 10:40～15:00	2 回目：2022 年 12 月 9 日（金） 13:15～16:00
2. 会場	青森市 新町キューブ 3 階会議室	秋田県庁第二庁舎 4 階 災害対策本部室	ZOOM によるオンライン開催	盛岡地域交流センター マリオス 188 会議室
3. 参加人数	35 名	18 名	29 名	20 名
4. 内容	<p>①講義：「令和 4 年大雨災害における五所川原市の災害廃棄物処理」</p> <p>講師：五所川原市 民生部環境対策課 廃棄物対策係長 田中威生氏</p> <p>②ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」 ※初動対応と仮置場設置</p> <p>進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p> <p>☆青森県独自事業☆ 2022 年 10 月 7 日（金）午前 災害廃棄物処理計画策定に係る研修会を実施</p>	<p>①講義：「環境省における災害廃棄物対策」</p> <p>講師：環境省東北地方環境事務所資源循環課 課長補佐 菅原崇臣氏</p> <p>②ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」 ※発生量推計、仮置場候補地検討等</p> <p>進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p> <p>☆秋田県独自事業☆ 2022 年 10 月 13 日（木） 仮置場実地訓練を実施</p>	<p>①講義：「環境省における災害廃棄物対策」</p> <p>講師：環境省東北地方環境事務所資源循環課 課長補佐 菅原崇臣氏</p> <p>②講義：「豪雨災害における初動時の取り組みと今後の課題について」</p> <p>講師：有価物回収協業組合 石坂グループ 本部長 石坂広徳氏</p> <p>③「被災自動車の適正処理について」</p> <p>講師：MS&amp;AD インターリスク総研株式会社 主任コンサルタント 石長賢一氏</p>	<p>①ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」 ※発生量推計、仮置場候補地検討等</p> <p>進行：一般財団法人日本環境衛生センター</p>

	宮城県	山形県	福島県	
1. 開催日時	2022年10月19日(水) 10:30~15:40	1回目:2022年9月27日(火) 10:30~15:00  2回目:2022年9月29日(木) 10:30~15:00	1回目:2022年11月29日(火) 13:00~16:00	2回目:2022年12月1日(木) 13:00~16:00
2. 会場	東京エレクトロンホール宮城 602会議	WebEXによるオンライン開催	福島県自治会館1F 消費生活課研修室	富岡町文化交流センター 会議室
3. 参加人数	19名	27日:13名・29日:6名	34名	19名
4. 内容	<p>①講義:「豪雨災害における初動時の取り組みと今後の課題について」</p> <p>講師:有価物回収協業組合 石坂グループ 本部長 石坂広徳</p> <p>②ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」 ※発生量推計, 仮置場検討等</p> <p>進行:一般財団法人日本環境衛生センター</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>☆宮城県独自事業☆</p> <p>2022年6月10日(金)</p> <p>○討論型演習</p> <p>2023年1月24日(火)</p> <p>○対応型演習 を実施</p> </div>	<p>①講義:「環境省における災害廃棄物対策」</p> <p>講師:環境省東北地方環境事務所 資源循環課 課長補佐 菅原崇臣</p> <p>②ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」</p> <p>進行:一般財団法人日本環境衛生センター</p> <p>※同一の研修内容を地域ごとに日程をわけて実施</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>☆山形県独自事業☆</p> <p>2022年10月18日(水)</p> <p>仮置場実地訓練を実施</p> </div>	<p>①福島県による講話</p> <p>②ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」 ※発生量推計, 仮置場候補地検討等</p> <p>進行:一般財団法人日本環境衛生センター</p> <p>※同一の研修内容を地域ごとに日程をわけて実施</p>	<p>①福島県による講話</p> <p>②ワークショップ 「災害廃棄物ワークショップ」 ※発生量推計, 仮置場候補地検討等</p> <p>進行:一般財団法人日本環境衛生センター</p> <p>※同一の研修内容を地域ごとに日程をわけて実施</p>

青森県実施風景



秋田県実施風景



岩手県実施風景



宮城県実施風景



山形県実施風景

近年の大規模災害における災害廃棄物の発生量及び処理期間

災害名	発生年月	発生廃棄物量	処理家数	処理期間
東日本大震災	2011年3月	3100万トン (発生量: 約1,800万トン)	約118,000 約184,000	約3年 (廃棄物処理)
阪神・淡路大震災	1995年1月	1500万トン	約104,000 約144,216 約200,000 約1,324	約3年
熊本地震 (熊本県)	2016年4月	311万トン	約1,100 約24,402 約34,000	約2年
平成30年7月豪雨 (岡山県、広島県、愛媛県)	平成30年7月	180万トン <sup>(注1)</sup>	約4,800 <sup>(注2)</sup> 約10,000 <sup>(注3)</sup> 約14,000 <sup>(注4)</sup> 約1,000 <sup>(注5)</sup>	約2年
令和元年西日本豪雨 (鹿児島県)	令和元年8月、10月	154万トン <sup>(注6)</sup>	約20,000 <sup>(注7)</sup> 約22,000 <sup>(注8)</sup> 約21,000 <sup>(注9)</sup> 約1,000 <sup>(注10)</sup>	約2年 (予定)
新潟県中越地震	2007年10月	80万トン	約1,100 約13,800 約22,000	約3年
令和2年7月豪雨	2022年7月	54万トン <sup>(注11)</sup>	約1,000 <sup>(注12)</sup> 約4,000 <sup>(注13)</sup> 約10,000 <sup>(注14)</sup> 約1,000 <sup>(注15)</sup>	約1.5年 <sup>(注16)</sup>
広島県土砂災害	2018年8月	52万トン	約100 約100 約100	約1.5年

(注1) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注2) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注3) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注4) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注5) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注6) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注7) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注8) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注9) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注10) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注11) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注12) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注13) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注14) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注15) 発生廃棄物の発生量 (発生量) (注16) 発生廃棄物の発生量 (発生量)

福島県実施風景

